

◎ 処置運用フローの作成

1. 運用フロー(医師の指示有り)

1-1 運用フロー処置(現行指示有り)

1-2 運用フロー処置(指示入力)

2. 運用フロー(医師の指示無し)

2-1 運用フロー処置(現行指示無し)

2-2 運用フロー処置(実施後入力)

## 1-1. 処置(現行運用 指示有り)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日				
	診察室	医師	患者を診察し、処置行為の指示を出す。		医師が診療行為をカルテに記載する。
	又は病棟				看護師への指示は口頭で行う。
	(外来時)	看護師	処置室で処置行為を行う場合 →No.3へ		
2	診察室	看護師	医師の指示内容に基づき、患者に		
	又は病棟		処置行為を施す。		
		看護師、又 はクラーク	処置伝票、又は行為伝票総括票の該当 する項目にチェックをする。 ※伝票類に無い行為は記載か、ゴム印		病棟は定期的に医事職員が伝票類を 回収に来る。
	(病棟)	看護師、又 はクラーク	翌月初めに医事室へ伝票類を廻す。		※病棟業務はここまで完結する。
	(外来時)	看護師	診察、処置の終了後、伝票類を患者 へ渡し、会計へ誘導する。 →No.4へ		※容態により、次回処置内容をカルテに 記載する。
3	外来処置室	看護師	患者を処置室へ案内		
		看護師	医師の指示内容に基づき、患者に 処置行為を施す。		
		看護師、又 はクラーク	処置伝票、又は行為伝票総括票の該当 する項目にチェックをする。 ※伝票類に無い行為は記載か、ゴム印		
		看護師	診察、処置の終了後、伝票類を患者 へ渡し、会計へ誘導する。		
4	医事室	患者	会計窓口へ伝票類を提出する。		
	(会計窓口)				
	医事職員		伝票類を参照し、処置内容について 会計情報を入力する。	医事会計システム	
		医事職員	請求書兼領収書を発行する。	医事会計システム	
5	医事室	医事職員	患者を呼び、請求書兼領収書を渡す。		
	(会計窓口)				
	患者		請求書兼領収書を受け取り、診療費を 支払い、帰宅する。		

## 1-2. 処置(指示入力)(案)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日				
	診察室	医師	患者を診察し、処置行為の指示を出す。	処置オーダ入力(依頼)を行う	外来では初期値が実施となるが、
	又は病棟			※外来は案内票発行	ユーザー操作により依頼へ変更可能
				必要な記録を電子カルテに	
				入力する。	
	(外来時)	看護師	処置室で処置行為を行う場合、案内票を受けとる。 →No.3へ		
2	診察室	看護師	依頼オーダ内容を確認する。		
	又は病棟		※外来は案内票にて内容確認		
			※病棟ではワークシート、又は、ノート		
			PCの画面で内容確認		
		看護師	医師の指示内容に基づき、患者に処置行為を施す。		
		看護師	処置オーダの依頼内容を確認し 実施入力を行う。	処置オーダ実施入力の時点で コストとして医事へ送信される。	病棟業務はここまで完結
			※外来では案内票が発行される。		
	(外来時)	看護師、又 はクレーカー	実施入力後に発行された案内票をクリア ファイルに入れ、患者に渡し、会計へ 誘導する。 →No.4へ		※容態により、次回処置を事前に予定 入力する。
3	外来処置室	看護師	患者を処置室へ案内		
		看護師	依頼オーダ内容を確認する。 ※案内票にて内容確認		
		看護師	医師の指示内容に基づき、患者に処置行為を施す。		
		看護師	処置オーダの依頼内容を確認し 実施入力をを行い、案内票を発行する。	処置オーダ実施入力の時点で コストとして医事へ送信される。	
		看護師、又 はクレーカー	実施入力後に発行された案内票をクリア ファイルに入れ、患者に渡し、会計へ 誘導する。		
4	医事課 (会計窓口)	患者	会計窓口へ案内票の入ったクリアファイル を提出する。		
		医事職員	オーダからのコスト情報を取り込み、 案内票、電子カルテにて内容確認する。	医事会計システム 電子カルテシステム	
		医事職員	請求書兼領収書を発行する。	医事会計システム	
5	医事課 (会計窓口)	医事職員	患者を呼び、請求書兼領収書を渡す。	会計表示板	
		患者	請求書兼領収書を受け取り、診療費を 支払い、帰宅する。	自動精算機	

## 2-1. 処置(現行運用 指示無し)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日				
	診察室	医師	患者を診察し、処置行為を施す。		医師が診療行為をカルテに記載する。
	又は病棟				
	(外来時)	看護師	処置室で処置行為を行う場合 →No.3へ		
2	診察室	看護師、又はクラーク	処置伝票、又は行為伝票総括票の該当する項目にチェックをする。 ※伝票類に無い行為は記載か、ゴム印		病棟は定期的に医事職員が伝票類を回収に来る。
	又は病棟				
	(病棟)	看護師、又はクラーク	翌月初めに医事室へ伝票類を廻す。		※病棟業務はここまで完結する。
	(外来時)	看護師	診察、処置の終了後、伝票類を患者へ渡し、会計へ誘導する。 →No.4へ		※容態により、次回処置内容をカルテに記載する。
3	外来処置室	看護師	患者を処置室へ案内		
		医師	患者に処置行為を施す。		
		看護師、又はクラーク	処置伝票、又は行為伝票総括票の該当する項目にチェックをする。 ※伝票類に無い行為は記載か、ゴム印		
		看護師	診察、処置の終了後、伝票類を患者へ渡し、会計へ誘導する。		
4	医事室	患者	会計窓口へ伝票類を提出する。		
	(会計窓口)				
		医事職員	伝票類を参照し、処置内容について会計情報を入力する。	医事会計システム	
		医事職員	請求書兼領収書を発行する。	医事会計システム	
5	医事室	医事職員	患者を呼び、請求書兼領収書を渡す。		
	(会計窓口)				
		患者	請求書兼領収書を受け取り、診療費を支払い、帰宅する。		

## 2-2. 処置(実施後入力)(案)

No.	日時・場所	対象者	アクション	システムの機能	備考
1	当日				
	診察室	医師	患者を診察し、処置行為を施す。		
	又は病棟		又は、口頭にて指示を出す。		
		看護師	口頭指示があった場合は、患者に 処置行為を施す。		
	(外来時)	看護師	処置室で処置行為を行う場合 →No.3へ		
2	診察室	医師、又は 看護師、又 はクラーク	行った処置行為について、該当行為を 処置オーダ入力(実施)を行う。 ※外来では案内票が発行される。	処置オーダ実施入力の時点で コストとして医事へ送信される。	入院では初期値が依頼となるが、 ユーザー操作により実施へ変更可能 ※他に算定可能自費項目等入力する。
		医師	必要な記録を電子カルテに入力する。		病棟業務はここまで完結する。
	(外来時)	看護師、又 はクラーク	実施入力後に発行された案内票をクリア ファイルに入れ、患者に渡し、会計へ 誘導する。 →No.4へ		※容態により、次回処置を事前に予定 入力する。
3	外来処置室	看護師	患者を処置室へ案内		
		医師、又は、 看護師	患者に処置行為を施す。		
		医師、又は 看護師、又 はクラーク	行った処置行為について、該当行為を 処置オーダ入力(実施)を行う。 ※外来では案内票が発行される。	処置オーダ実施入力の時点で コストとして医事へ送信される。	※他に算定可能自費項目等入力する。
		医師	必要な記録を電子カルテに入力する。		
		看護師、又 はクラーク	実施入力後に発行された案内票をクリア ファイルに入れ、患者に渡し、会計へ 誘導する。		
4	医事課 (会計窓口)	患者	会計窓口へ案内票の入ったクリアファイル を提出する。		
		医事職員	オーダからのコスト情報を取り込み、 案内票、電子カルテにて内容確認する。	医事会計システム 電子カルテシステム	
		医事職員	請求書兼領収書を発行する。	医事会計システム	
5	医事課 (会計窓口)	医事職員	患者を呼び、請求書兼領収書を渡す。	会計表示板	
		患者	請求書兼領収書を受け取り、診療費を 支払い、帰宅する。	自動精算機	